

理想の上広川を提案

上広川小 6 年生 発表会

町民交流センター「いこっと」で1月24日(木)、上広川小学校の6年生が、よりよい上広川にするためのアイデアを飯田副町長らに提案しました。

上広川校区の人口は年々減少傾向。その実態を知った児童が、「みんなが住みたくなるような地域にしたい」と考え、行政に働きかけるためのアイデアをまとめました。

この日は15のグループが「私たちが考える理想の上広川」と題して発表。「まち子トイレ」や「だれでも遊べるサーキット」など、子どもたちが一生懸命考えたユニークな提案に、聴衆からは「どれも面白い」「ぜひ一緒に実現しましょう」などの意見が上がりました。



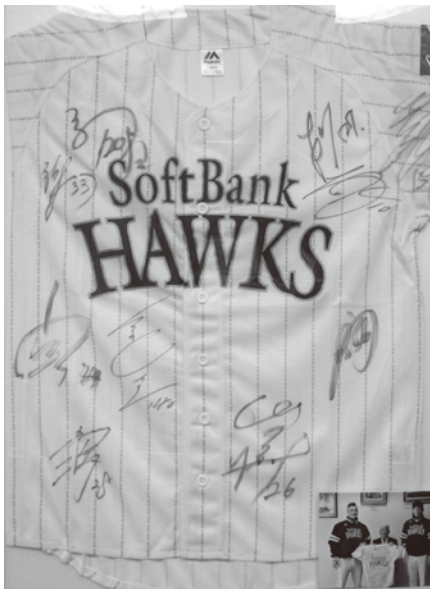
ホークス選手が筑後に活気を

筑後七国ホークス応援大使が来庁

1月17日(木)、「筑後七国ホークス応援大使」である渡邊雄大投手、砂川リチャード内野手が、2018シーズンについて渡邊町長に報告しました。

2選手は、「筑後で練習に励み、活躍することで筑後を盛り上げたい」と意気込みを語り、最後は町長へサイン入りユニフォームを手渡しました。

筑後七国（広川町を含む5市2町で構成）と福岡ソフトバンクホークスは、平成26年に地域連携協定を締結。ホークス新入団選手は「筑後七国ホークス応援大使」として、地域の魅力向上と活性化を目指しています。



商品の仕分けを体験

親子で工場見学会



1月26日(土)、小学5年生～中学1年生とその保護者を対象に「親子で工場見学会」が行われました。普段入ることのできない倉庫内部を見学できるもので、今回は(株)九州CGC（久留米・広川新産業団地）を訪問。

商品の仕分けを体験した親子からは「たくさんの方の手で私たちの生活が成り立っていることが分かった」などの感想が聞かれました。学校では体験できない多くを学んだようです。

百人一首で世代間交流

町立図書館主催 新春かるた会



1月27日(日)、町民交流センター「いこっと」でかるた会が行われました。小学生から高齢者までの参加者30人は、藤島傳藏さんから百人一首について学んだ後、坊主めくりや散らし取りを体験。持ち札を数えて一喜一憂する姿が見られました。

駅伝・マラソン共に入賞 広川イーグルス

2月3日(日)、グリーンピア八女で行われた「東八女少年野球マラソン・駅伝大会」で、広川イーグルスが優勝に輝きました。当日は小学5年生以下の代表6人が出場。小雨が降る中、駅伝6区間12キロメートルを1本のタスキでつなぎました。個人マラソンでは、3年生以下の部、4・5年生の部で3位に入賞。駅伝・マラソン共にメダルを取ることができ、これから始まる野球の試合に向けて、いいスタートをきることができました。

● 入部体験大歓迎！
広川球場バックネット側でお待ちしています(月・水は休み)。
保護者代表 野中

☎ 090・1086・6601



燃え上がる炎に祈り捧げる 高間区子ども会 左義長



地域コミュニニテイの充実に一役買っている「左義長」。区民の毎年の楽しみとなっています。

1月13日(日)、高間区子ども会が「左義長」を行いました。当日は子ども会のほか、前日から竹などを用意した壮年会や、警戒出動で駆けつけた消防団第3分団なども参加。子どもたちが「もぐら打ち」をした後に火が入られ、燃え上がる炎と竹が割れる音が響く中、1年間の無病息災、地域の安心・安全を祈りました。

元気に練習中！

中広 Jr ソフトボールクラブ



● 練習日 「夏季」(水)・(土) 「冬季」(土)・(月)・月2日程度の(日)
● 練習場所 中広川小学校グラウンド
問 牧野

☎ 090・5929・8610

中広 Jr ソフトボールクラブは、「勉強します！挨拶します！ソフトボールします！」を合言葉に、男女仲良く練習しています。ぜひ見学・体験にお越しください。

小銭に不自由しませんように 鬼ノ淵区 虚空蔵祭



鬼ノ淵区で1月13日(日)、虚空蔵祭が行われました。「金貸し菩薩」ともいわれる虚空蔵さんは、お賽銭を借りて帰ると、1年間小銭に不自由しなくなる言われていました。御利益にあやかるために訪れた人々は、勢いよく燃えるたき火の前で、地域の皆さんが振る舞うおでんや焼き立ての焼き鳥などを味わっていました。

鬼ノ淵区で1月13日(日)、虚空蔵祭が行われました。「金貸し菩薩」ともいわれる虚空蔵さんは、お賽銭を借りて帰ると、1年間小銭に不自由しなくなる言われていました。御利益にあやかるために訪れた人々は、勢いよく燃えるたき火の前で、地域の皆さんが振る舞うおでんや焼き立ての焼き鳥などを味わっていました。

無病息災を願う

吉里区 もぐら打ち



1月13日(日)、吉里区の小学生17人が「もぐら打ち」を行いました。「もぐら打ち」は、昭和30年代から続く地域の伝統行事。わらをつけた竹竿で家々や田畑の地面をたたき、1年間の無病息災を願うものです。集まった子どもたちは、大きな声で元気に各家庭をまわりました。

吉里区分館長

広川に元気届ける

九州プロレス

NPO法人「九州プロレス」が2月17日(日)、広川中学校体育館でプロレス大会「広川町ば元気にするバイ!!」を開催しました。

広川町での試合は昨年に引き続き2回目。めんたい☆キッドやばってん×ぶらぶら、玄海ら選手7人が出場し、3試合が行われました。

激しいぶつかり合いやユーモアたっぷりの立ち回り、場外乱闘など、迫力ある試合に会場は大勢の観客の熱気に包まれました。

当日はゲスト選手として、広川まち子ちゃん(?)も登場。鍛えられたレスラーに果敢に立ち向かい、見事勝利を収めました!

試合前には、子どもたちを対象としたプロレス教室も開催。多くの子どもたちがリングに上がり、スクワットなどを体験しました。



お墓の形からみえるもの

石人山古墳講演会



古墳公園資料館で2月17日(日)お墓の形から石人山古墳の謎に迫る講演会が行われました。講師は九州北部の古墳の石室構造や装飾を専門とする藏富士寛氏。石棺の変遷、周辺古墳の石棺との比較など、多様な切り口から石人山古墳について考えました。

広川球場を清掃

商工会工業部会 奉仕活動



広川町商工会工業部会が1月27日(日)、町内の少年野球チーム(広川イーグルス、下広スターボイズ、広川少年野球クラブ)、商工会の役員や職員、青年部、女性部の約120人で、広川球場周辺を清掃しました。工業部会による奉仕活動は今回が初めて。部会長は「地域の活性化・美化に貢献するため、今後も続けていきたい」と話しています。